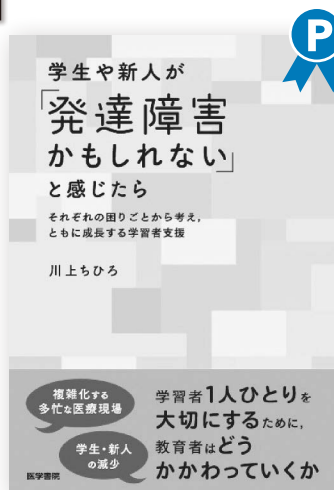




学生や新人が「発達障害かもしれない」と感じたら

それぞれの困りごとから考え、ともに成長する学習者支援

川上 ちひろ=著

定価 2,860 円／B5・144 頁／医学書院／2025

18 歳人口の減少、医療の多忙化など、医療者教育は新たな展開を迎えている。社会においても、発達障害への関心が高まるなか、これまでの方法が通じなくなったとき、つい、学習者が発達障害かもしれない、と感じるようである。本書では、発達障害への理解を深めるとともに、よりよい支援を実現するための考え方、あり方をお伝えする。教育者、医療従事者、職場の管理者必携の一冊。



内科救急 好手と悪手

坂本 壮=編集

定価 6,270 円／A4 変・160 頁／医学書院／2025

雑誌『medicina』で好評を博した増刊号「救急診療 好手と悪手」が待望の書籍化。救急外来で遭遇するさまざまな疾患の診療について、陥りがちなミスを「悪手」として提示し、適切な対応を「好手」として解説。書籍化にあたっては各項目を全面アップデートしたほか、産婦人科、小児科の章を追加し、救急外来で押さえておくべき主要な疾患を網羅した。



医師による医師のための ChatGPT 入門 あっという間の AI スライド作成術

大塚篤司=著

定価 3,300 円／B5・144 頁／医学書院／2025

『医師による医師のための ChatGPT 入門』シリーズ最新作。「スライドづくりって苦手だし、そもそも時間が足りなくて…。そんな悩みを抱える医療者のために、AI ツールを活用した“あっという間”のスライド作成術を紹介。構成やデザインなど時間のかかる作業も、驚くほどスムーズに。各ツールの使い方のコツから「伝わる」プレゼンのテクニックまで段階的に学べる、プレゼン能力全体を飛躍的に向上させるための実践書。

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.1217) にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



内科医と産婦人科医をつなぐ 妊産婦診療ガイド

日本母性内科学会＝監修
村島温子、三島就子＝編集

定価 4,950 円／A5・408 頁／医学書院／2025

日本母性内科学会の監修による、妊産婦を診るすべての医師のためのガイド。プレコンセプションケア、妊娠中によくある・注意すべき症候と検査値異常、主な妊娠合併症、母性内科診療の極みともいえる合併症妊娠の治療・管理をエキスパートが詳しく解説した。必要十分な情報にアクセスでき、適時・適切なコンサルトが行えるようにまとめられた、内科と産婦人科の架け橋となるガイド。文献、妊産婦と薬の情報、母性内科 TIPS も満載。



循環器ジャーナル Vol.73 No.3

令和時代の循環器薬の使い方 —処方箋の意図と治療戦略

木田圭亮＝編集

定価 4,510 円／A4 変・160 頁／医学書院／2025

虚血性心疾患、不整脈、心不全・心筋症、腫瘍循環器、そして超高齢社会や補完代替医療（CAM）としての漢方薬まで、多様な観点から現代の薬物療法を総覧した。

単にエビデンスに従うだけでなく、その背景にある病理理解や患者像を踏まえた処方こそが、私たち臨床医に求められる姿勢である。処方という行為が、科学と経験、標準と個性性を統合する“医の芸術”であることを、改めて実感いただきたい。